

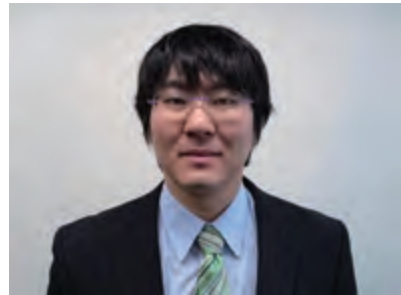
# 講座受講生のビフォーアフター（第5回）

平川市教育委員会 生涯学習課 主査

北川 真吾（きたがわしんご）さん

平成27年度「ボランティア関係機関職員養成講座」受講生

## ボランティア職員養成講座を受講して 自分の事業運営のヒントを得る



（北川 真吾さん）

Q なぜ、この講座を受講しようと考えましたか？

今年度より、自分が手がけている事業の中に、「平川市に興味がある若者を対象とした地域づくり・まちづくりの活性化」をテーマにした事業がありました。その事業を行う上で、**地域づくり・まちづくりには、ボランティア分野は不可欠だ**と思い、何かそれにあつた研修はないかと思っていた時に「**海外ボランティアの経験を地域で活かす**」という演題での講座を総合社会教育センターで開催されると知り、是非とも講師の相馬さんの話を聴きたくて、受講しました。

Q 講座を受講し参考になったことは何ですか？

相馬氏の講義を聴き、普段、人とコミュニケーションをとる際、日本語でも難しいのに、海外で言葉が通じなくても自分の思いを懸命に伝える努力が必要だという話に心を打たれました。



午後の演習「**貿易ゲーム**」では、

仲間と協力し、知恵を出し合い、日頃、意識することのない**交渉力・営業力**という言葉の意味を知りました。

ワークショップで、グループの代表として発表する北川さん

また、**新たな自分を発見するワークショップ**を初めて体験し、とても新鮮な気持ちになったと同時に、今後に役立つヒントをたくさん得ることができました。

Q 「今後に役立つヒント」とは具体的にどのようなことですか？

相馬氏の「**人づくりに対する考え方**」や「**人をつなげていく姿勢**」は、大変参考になりました。

今、担当している「**まち活ひらかわ未来塾**」は、当初、市内の20代から40代を対象に行っていましたが、地域の高校生にも将来のまちづくりや構想について関心をもってもらいたいと考え、地

元の柏木農業高校生まで門戸を広げ、呼びかけました。その中の「**キャンドルと切り絵と路上ライブナイト**」の事業

では、柏木農業高校の「**ボランティア委員会**」に声をかけ、キャンドル作りと切り絵のワークショップを行う際のサポート役として、高校生に受講者への作業の支援や準備・片付けなどの活動をしていただきました。



切り絵のワークショップで、サポートする高校生ボランティア

今後も、「平川市の未来を考えよう」をテーマに、ワールドカフェを開催し、地元の高中生や若者の意見を取り入れて、未来の担い手発掘・育成・支援事業「**まち活ひらかわ未来塾**」を継続・発展させていきたいと思ひます。

Q これから講座を受講したいと思っている人へのメッセージをお願いします。

何かしらの事業の担当をしている人や何かのヒントがほしいと思っている人にとって、総合社会教育センターの講座やセミナーは受ける価値があると思ひます。**ちがう扉を開くことで、新たな発見、視界が広がる**と思ひます。

また、異なる職種の方や同じ悩みを持つ方々からたくさんの情報を得ることもできます。是非とも、参加してみてください。

**ボランティア関係機関職員養成講座**…教育委員会、市役所・町村役場職員、市町村社会福祉協議会担当等を対象に講義・演習を通して専門性と資質の向上を目的に、社会参加活動の推進・充実をめざします。

今年度は、全3回で54人の受講生が参加。

**ワールドカフェ**…カフェにいるようになりリラックスした雰囲気の中で、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、時々メンバーを替えて話し合う手法。